



被災地へ出発

要望を集約し、物資を届けました

玉名市に物資を届ける

4月17日早朝、本市の危機管理専門員らが被災地に向け出発しました。これは被災地からの要望を集約した全国市長会からの依頼に応えるもので、本市からは熊本県玉名市に水や毛布、トイレトーパーなど物資を届けました。

市長は現地へ赴く職員を前に「25年前の雲仙普賢岳噴火災害の際、わたしたちのまちは全国の皆さんに大変お世話になった。今度は恩返しをする番です。しっかり取り組んでください」と激励しました。

また、市商工会青年部もフェイスブックなどで市民の皆さんに物資の提供を呼び掛け、18日と22日に被災地へ物資を届けるなど民間レベルでの支援の輪も広がっています。



市商工会青年部の集積所には市民の皆さんから予想をはるかに超えた物資が集まりました



そうめんの炊き出しの準備をする支援隊

熊本市へ支援隊が出発

4月19日、熊本地震の被災地を支援するために市職員と市社会福祉協議会職員で結成した支援隊が本市を出発しました。

支援隊は21日までの3日間、熊本市内で温かいそうめんの炊き出しや水の提供を行いました。



温かいそうめんが振る舞われました

平成28年 熊本地震

被災地のために祈ろう。そして動こう。

4月14日以降発生している熊本地震。主に熊本、大分両県を襲ったこの地震による犠牲者の数は40人以上、避難者は11万人を超えています。

本市でも16日午前1時25分ごろ震度5強の地震を観測し、その後の度重なる余震の影響で市が設置した自主避難所に避難した人は一時期500人を超えました。市内では水道管の破損や屋根瓦の落下、ブロック塀の倒壊、外壁破損など被害があり、特にJA島原雲仙南有馬地区営農センターでは天井パネルが落下、北有馬ピロティー文化センター日野江では吊り天井パネルが落下するなど大きな被害を受けました。4月20日現在も余震は続いており、予断を許さない状況が続いています。

人は災害を止めることはできませんが、被害を軽減することは可能です。

“いざという時に備えて”日ごろから災害に対する備えに努めましょう。



北有馬ピロティー文化センター日野江の吊り天井パネルが落下

民家のブロック塀が倒壊

JA島原雲仙南有馬地区営農センターの天井パネルが落下

防災行政無線の放送内容が確認できます

☎ 総務課 ☎050(3381)5020 南島原市 防災Web 検索

自動案内サービス

放送内容を確認中、次のような操作ができます。

☎0957(82)6255 または
☎0957(82)6256

※電話通話料は自己負担となります。
※電話回線が混み合っている時には、再度、おかけ直ください。

操作内容	電話のボタン操作
ひとつ前のメッセージに戻るとき	「#」を押し、「1」を押す
現在、聞いているメッセージの冒頭に戻るとき	「#」を押し、「2」を押す
次のメッセージに進むとき	「#」を押し、「3」を押す
最初のメッセージに戻るとき	「#」を押し、「0」を押す

※市内各地で放送された内容を最新のものから順に再生します。

避難や災害時の連絡方法について確認しよう！

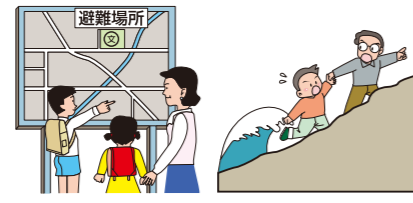
家族防災会議

役割分担、避難場所、避難場所までの道順、家族との連絡方法などを家族全員で確認しましょう



避難場所・道順の確認

避難場所はどこか、道順はどうするかなどを確認しましょう。海辺などにいるときに、地震が起きた場合には、すぐに高い所に避難しましょう



災害用伝言ダイヤル「171」

災害によって電話が通じなくなったときのために、NTT災害用伝言ダイヤル「171」を覚えておきましょう



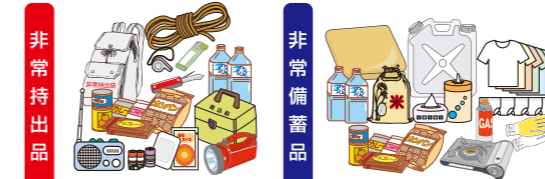
※参照：総務省消防庁

地震 日ごろから災害にそなえよう！ 地域の防災力を高めるためには、日ごろからの備えと、家族や地域とのコミュニケーションが大切です！

非常時に備えておこう！

非常持出品・非常備蓄品

災害に備える非常用品は、持って避難する「非常持出品」と災害後の生活を支える「非常備蓄品」に分けて備えましょう



避難場所での生活に最低限必要な準備をしておきましょう
持出品や備蓄品は定期的に点検・入替しておきましょう

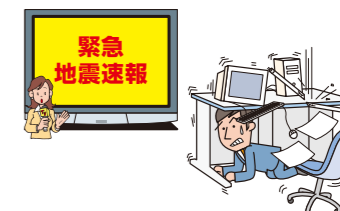
家具の転倒を防ぐ

家具は転倒防止器具で固定しておきましょう



緊急地震速報

緊急地震速報を聞いたら



・頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れる
・あわてて外へ飛び出さない